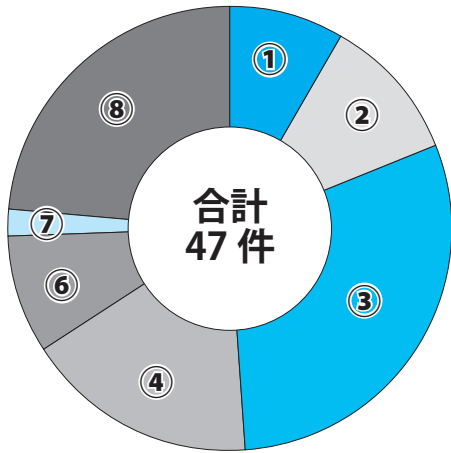


市長への手紙『分類別受付件数』

※回答を「希望する方」のみ

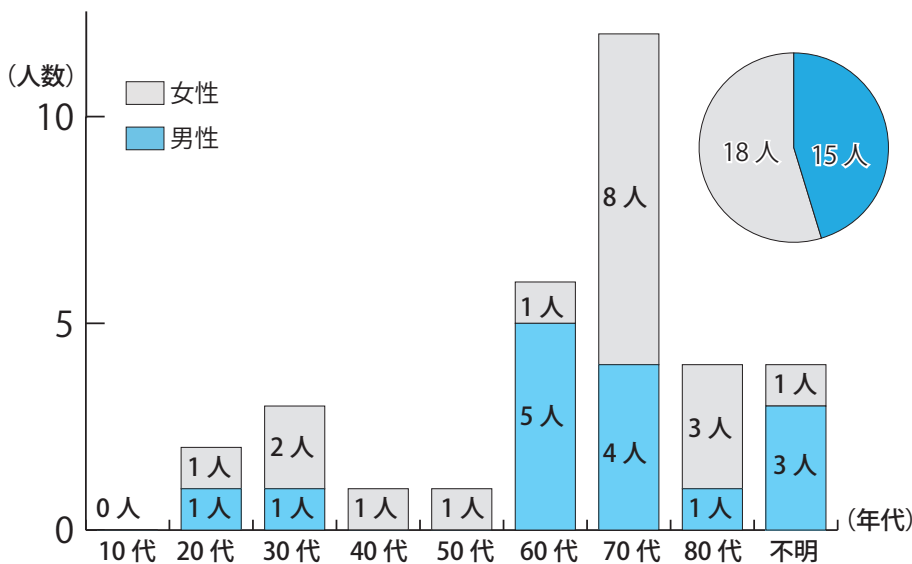


①教育・子育て	4件
②建設	5件
③医療・福祉	14件
④防犯・防災	8件
⑤文化	0件
⑥公共施設	4件
⑦観光	1件
⑧その他	11件

令和2年度は、33人の方から47件の意見をいただきました。

手紙の内容は、医療・福祉が14件と最も多い件数となっており、医療施設・体制の充実などに関する意見が多く寄せられました。また、防犯・防災に関する意見が8件寄せられ、その多くが災害対策への提案や要望となっていました。

市長への手紙『年代別受付件数』



20代から80代までの幅広い年代から意見をいただきました。

手紙をいただいた方の男女比は女性が多く、特に60代から70代の方からの意見が多くなっています。

市は、皆さまとの協働による住みよいまちづくりを目指すとともに、寄せられた意見を市政に反映するため、平成27年10月から『市長への手紙』の取り組みを行っています。今回は、令和2年度に寄せられた主な意見の内容などを紹介します。

『市長への手紙』

令和2年度に皆さまから
寄せられた意見

市長への手紙『主な意見』

台風の影響で利用中止となっている子どもアート・メゾンはいつ再開するのか。

女性（70代） 中村地区【令和2年4月6日受け付け】

【回答】

令和元年東日本台風および10月25日大雨による浸水により、子どもアート・メゾンは施設全体に大きな被害を受けました。現在、施設修繕のための設計を行っている段階ですが、一日も早く利用再開できるように努めていきます。



【その後の対応】

被災した備品や図書の入替、室内の模様替えなどを行い、令和3年4月に利用を再開しました。

JR相馬駅のエレベーター設置計画を前向きに検討いただきありがとうございます。

女性（70代） 中村地区【令和2年6月4日受け付け】

【その後の経過】

JR相馬駅のエレベーターは3月20日から供用開始となりました。

※エレベーターは、相馬駅上下線連絡通路の利便性向上のため、上り、下りの各ホームに1基ずつ設置されました。



JR相馬駅に設置されたエレベーター

市営刈敷田団地内にできた2カ所の大きな水たまりを砂利で埋めてください。

女性（40代） 新沼地区【令和2年4月23日受け付け】

【回答】

直ちに職員を派遣して状況を調査し、修繕が必要であることを確認しましたので、適切に対応します。

【その後の対応】

令和2年5月29日に修繕を完了しました。



修繕前



修繕後

市内唯一の産院が閉じるので、市内に早急に新たな産院の設置を検討してください。

男性（30代） 和田地区【令和2年4月21日受け付け】

【回答】

新しい産婦人科の開院を希望する方がいれば市として全力で支援したいと考えていますが、全国的に産婦人科医師が不足している状況です。

引き続き福島県立医大に産婦人科医師の派遣をお願いしていきます。

● 問い合わせ先

情報政策課広報広聴係（☎372117）



『市長への手紙』コーナーQRコード

今回紹介した手紙のほかに、今後のまちづくりの参考になる意見が多く寄せられました。寄せられた意見は、市のホームページ『市長への手紙』コーナーに掲載しています。左記のQRコードからもご覧いただけます。住みよいまちづくりのため、今後も皆さまの声をお待ちしています。